

第3次健康くれ21(健康増進計画・食育推進計画)(案)について

1 計画の趣旨、計画の位置付け及び計画期間

【計画の趣旨】

呉市では、平成25年3月に「第2次健康くれ21(健康増進計画・食育推進計画)」を策定し、市民の健康づくりや食育の推進を支援する取組を行ってきました。

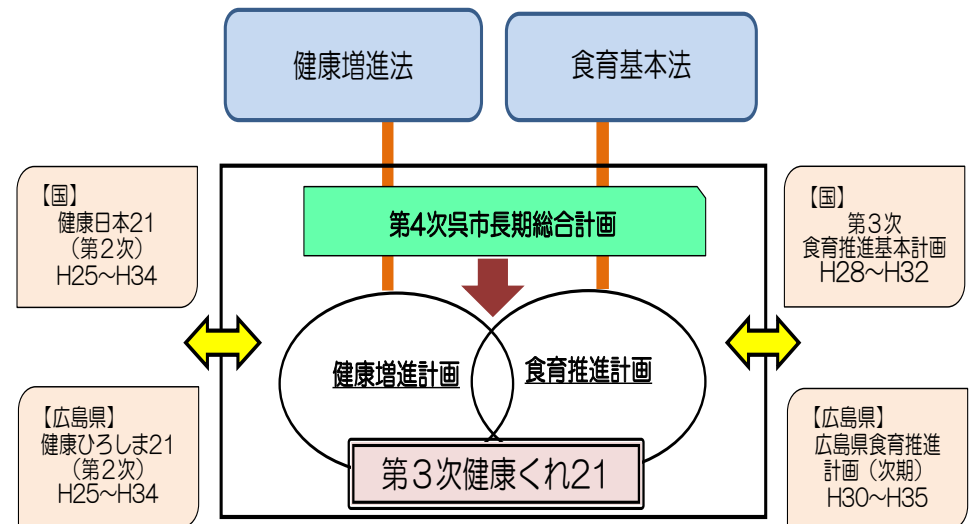
当該計画は、本年度が最終年度であることから、市民アンケート調査を実施し、計画目標の達成状況や取組内容について評価を行うとともに、国及び県の動向を踏まえ、市民の健康の保持・増進を図るため、現計画を引き継ぐ「第3次健康くれ21(健康増進計画・食育推進計画)」を策定します。

なお、健康増進計画と食育推進計画は、相互に共通する分野の取組が多いことから、第3次計画においても一体的に作成し、運動・こころ・食育等の各分野での健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指します。

【計画期間】 平成30年度から平成34年度までの5年間

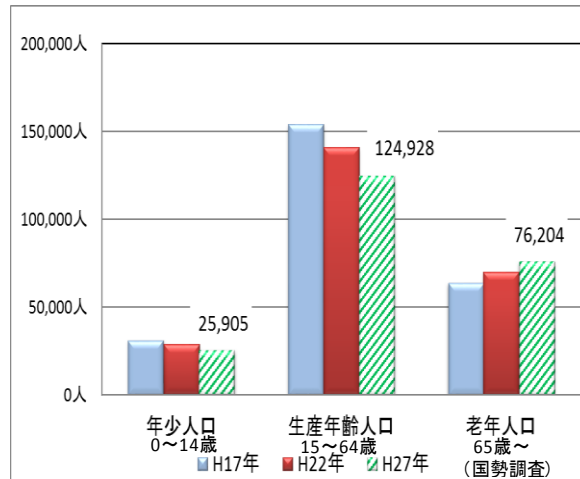
【計画の位置付け】

この計画は、健康増進法(平成14年法律第103号)第8条第2項に規定する「市町村健康増進計画」として、また、食育基本法(平成17年法律第63号)第18条第1項に規定する「市町村食育推進計画」として策定するものです。第4次長期総合計画の下位計画として位置付け、家庭や地域等で行う健康づくりや食育の推進を支援するための市の行動計画です。



2 呉市の状況

年齢別（3区分）人口



【人口・世帯】（平成29年9月末 住民基本台帳）

・人口は228,636人、世帯数は111,224世帯で減少傾向

【年齢別人口】（平成27年国勢調査）

・65歳以上は76,204人で全体の約34%を占め、少子高齢化が進展

検診（健診）受診率

区分	H24年度	H25年度	H26年度	※ H27年度	※ H28年度	目標値 H28年度
肺がん	11.2%	11.7%	11.4%	12.7%	13.7%	40.0%
胃がん	8.1%	8.0%	8.1%	8.0%	12.1%	40.0%
大腸がん	11.1%	11.6%	12.6%	13.6%	14.5%	40.0%
子宮頸がん	46.7%	46.6%	47.2%	48.7%	58.3%	50.0%
乳がん	19.5%	20.3%	21.9%	25.3%	20.1%	50.0%
特定健康診査 (国保加入者)	21.1%	21.9%	23.0%	25.3%	24.7%	40.0%

【がん検診・特定健康診査受診率】（広島県HP）

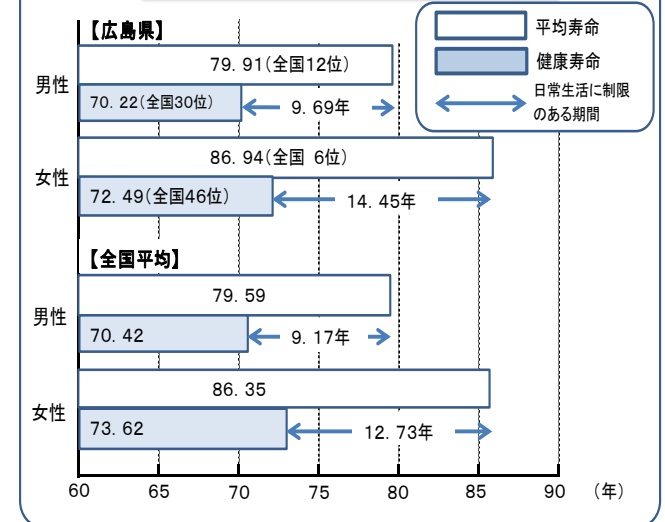
・がん検診及び特定健康診査の受診率は、子宮頸がんを除いて、目標値は下回っているものの、年々増加傾向

※広島県が公表しているがん検診対象数の算定方法は、平成27年度から変更されているが、推移の比較を行うため平成27年度以降も従来の算定方法により独自に算定した。

【死因別死亡数・死亡率】（平成27年実績 呉市の保健衛生）

- ・1位 がん, 2位 心疾患, 3位 肺炎,
- 4位 脳血管疾患, 5位 老衰
- ・生活習慣病の主な疾患による死亡率は、全国、広島県より高水準

（平均寿命・健康寿命）H22年



【平均寿命・健康寿命】

（平均寿命は平成22年生命表、健康寿命は健康日本21）

- ・平成22年の広島県の健康寿命は、男性は70.22年（全国30位）、女性は72.49年（全国46位）であり、かなり低位
- ・平均寿命と健康寿命の差は、男性9.69年、女性14.45年で、全国平均と比べ、男性で0.52年、女性で1.72年大きくなっている。

3 前計画の評価と考察

(1) 評価の結果

- ・平成28年度の市の取組及び平成29年度のアンケート調査の結果における達成状況について

健康増進計画

- ・市の行動目標では、◎の「目標値に達した」と○の「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせ、全体の約7割（11項目/15項目）での改善が見られました。
- ・目標とする項目では、◎の「目標値に達した」と○の「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせ、全体の約8割（18項目/23項目）での改善が見られました。

食育推進計画

- ・市の行動目標では、◎の「目標値に達した」と○の「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせ、全体の約5割（5項目/11項目）で一定の改善が見られました。
- ・目標とする項目では、◎の「目標値に達した」と○の「目標値に達していないが改善傾向にある」を合わせ、全体の約6割（7項目/11項目）で一定の改善が見られました。

【市の行動目標の評価】(市が取り組んでいく目標)

評価区分		項目数	割合
◎	目標値に達した	2項目	13.3%
○	目標値に達していないが改善傾向にある (基準値を上回っている)	9項目	60.0%
△	改善していない (基準値を下回っている)	4項目	26.7%
合 計		15項目	100.0%

【市の行動目標の評価】(市が取り組んでいく目標)

評価区分		項目数	割合
◎	目標値に達した	3項目	27.3%
○	目標値に達していないが改善傾向にある (基準値を上回っている)	2項目	18.2%
△	改善していない (基準値を下回っている)	6項目	54.5%
合 計		11項目	100.0%

【目標とする項目の評価】(市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標)

評価区分		項目数	割合
◎	目標値に達した	7項目	30.4%
○	目標値に達していないが改善傾向にある (基準値を上回っている)	11項目	47.8%
△	改善していない (基準値を下回っている)	5項目	21.8%
合 計		23項目	100.0%

【目標とする項目の評価】(市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標)

評価区分		項目数	割合
◎	目標値に達した	4項目	36.4%
○	目標値に達していないが改善傾向にある (基準値を上回っている)	3項目	27.2%
△	改善していない (基準値を下回っている)	4項目	36.4%
—	判定不能	(1項目)	—
合 計		11項目	100.0%

(2) 前計画の評価と考察(主なもの)

前計画の評価と考察(主なもの)

(健康増進計画)

市の行動目標(市が取り組んでいく目標) 目標とする項目(市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標)		基準値	目標値	実績値	評価	
		H23年度 H24年度	H28年度 H29年度	H28年度 H29年度		
運動	健康くれ体操の普及	205回 10,448人	220回 11,000人	296回 12,802人	◎	
	定期的に運動している人の割合の増加(週3回以上)	26.9%	32.0%	28.5%	○	
こころの健康	こころの健康づくりの啓発者数	166回 4,784人	180回 5,100人	206回 7,154人	◎	
	睡眠による休養が十分とれていない人の割合の減少	27.0%	25.0%	26.7%	○	
たばこ・アルコール	妊婦への禁煙指導	98.3%	100%	98.6%	○	
	妊娠中の喫煙をなくす	H21年度 2.9%	H25年度 0%	H25年度 3.3%	△	
	生活習慣病のリスクを高める 飲酒をしている人の割合の減少	成人男性	13.0%	11.8%	13.3%	△
		成人女性	7.4%	6.8%	7.7%	△
歯と口の健康	むし歯予防の啓発	12回 205人	15回 220人	13回 234人	○	
	12歳児一人平均むし歯数の減少	H23年度 0.91本	H28年度 減らす	H28年度 0.76本	◎	
	歯や口の状態についてほぼ満足している人(15歳以上)の割合の増加	42.0%	47.0%	34.4%	△	
健康チェック	特定健康診査結果の保健指導実施人数	延べ 1,559人	延べ 1,640人	延べ 1,225人	△	
	がん検診の受診率向上	肺がん検診受診率	H23年度 8.3%	H28年度 40.0%	H28年度 13.7%	○
		胃がん検診受診率	H23年度 5.9%	H28年度 40.0%	H28年度 12.1%	○
		大腸がん検診受診率	H23年度 8.3%	H28年度 40.0%	H28年度 14.5%	○
		子宮頸がん検診受診率	H23年度 28.3%	H28年度 50.0%	H28年度 58.3%	◎
		乳がん検診受診率	H23年度 11.5%	H28年度 50.0%	H28年度 20.1%	○
	がん検診・健康診査の結果を健康管理に生かす人の割合の増加	66.8%	72.0%	77.5%	◎	

(食育推進計画)

市の行動目標(市が取り組んでいく目標) 目標とする項目(市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標)		基準値	目標値	実績値	評価	
		H23年度 H24年度	H28年度 H29年度	H28年度 H29年度		
食の基本	朝ご飯を食べよう運動	59施設	153施設	145施設	○	
	朝食を毎日食べている人の割合の増加	15歳~74歳	84.5%	90.0%	88.0%	○
		小学校6年生	91.9%	100.0%	91.5%	△
		中学校3年生	86.1%	100.0%	85.0%	△
	栄養バランスと量を常に考えている人の割合の増加	25.8%	31.0%	33.2%	◎	
食の安全に関する知識を持っている人の割合の増加	45.4%	90%以上	47.5%	○		
市の行動目標(市が取り組んでいく目標) 目標とする項目(市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標)		基準値	目標値	実績値	評価	
		H23年度 H22年度	H28年度 H27年度	H28年度 H27年度		
食を通じての健康づくり	おいしい減塩食で健康生活推進事業 減塩いいね!キャンペーン	-	3,000人	19,431人	◎	
	血圧が基準値以内の人の割合の増加(呉市国民健康保険加入者の特定健康診査受診者)	50.8%	56.0%	47.8%	△	
市の行動目標(市が取り組んでいく目標) 目標とする項目(市民の皆さんに取り組んでいただきたい目標)		基準値	目標値	実績値	評価	
		H23年度 H24年度	H28年度 H29年度	H28年度 H29年度		
食を大切にする心の育成	乳幼児健康診査での啓発実施数	3,550人	5,500人	3,211人	△	
	普段、家族と一緒に食事をしていない子どもの割合の減少	年長児	0.2%	減らす	0.5%	△
		小学校6年生	7.9%	減らす	3.0%	◎
		中学校3年生	13.4%	減らす	10.7%	◎

4 現状と課題

● 健康に関するアンケート調査(一部抜粋)並びに国及び県等の調査を基に分析しました。

(健康増進計画)

1 身体活動・運動

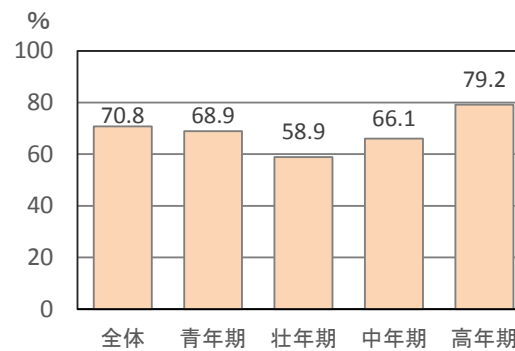
現状と課題

日常生活の中で意識的に体を動かすようにしている人の割合は70.8%で、世代別では、高年期が高く、壮年期、中年期で低い傾向があります。

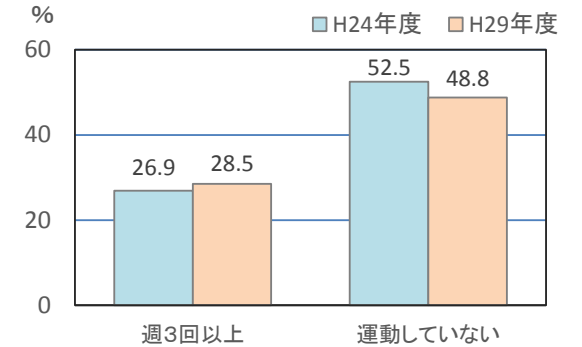
また、週3回以上定期的に運動している人の割合は28.5%で、目標値の32.0%には達していません。

こうしたことから、更に運動習慣を定着させるため、自発的に運動するための動機付けが必要であり、壮年期、中年期に身近な生活の中でできる身体活動量を増やす取組が必要です。

【日常生活の中で意識的に体を動かすようにしている人】
(H29年度)



【定期的な運動習慣】



2 歯と口の健康

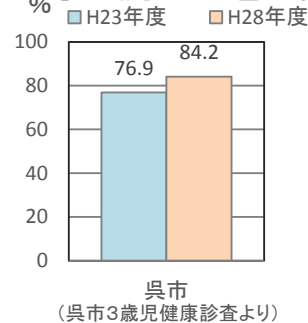
現状と課題

3歳児でむし歯のない子どもの割合は84.2%で、目標値の80%を上回る状況となっています。また、12歳児の一人平均むし歯数は0.76本で、前回調査時の0.91本より減少させるという目標も達成しています。こうした良好な状況を維持するため、乳幼児期から継続して、むし歯予防の大切さについて普及・啓発に取り組む必要があります。

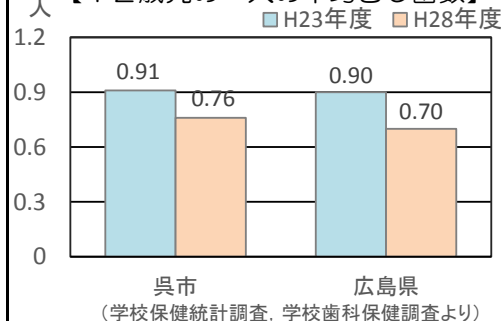
歯と口の状態についてほぼ満足している人の割合は34.3%で、目標値の47.0%に達していません。年齢が上がるにつれて、不自由や苦痛を感じている人の割合が増加しており、青年期、壮年期では「歯並びや歯の色」、「口臭」が気になる人の割合が高く、中年期、高年期では、「歯と歯の間にもものが挟まる」、「入れ歯が合わない」と感じている人の割合が高くなっています。

このため、各ライフステージに応じた適切な口腔機能の育成・維持を図る取組が必要です。

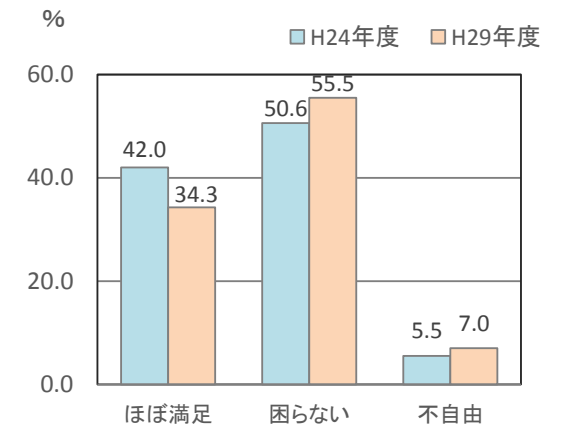
【3歳児でむし歯のない子どもの割合】



【12歳児の一人の平均むし歯数】



【歯と口の状態について】



3 こころの健康

現状と課題

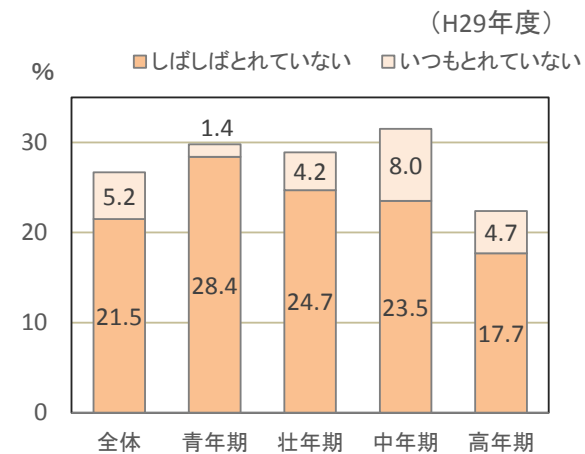
睡眠による休養が十分とれていない人の割合は26.7%で、目標値の25.0%に達していません。睡眠の状況を世代別にみると、中年期が3割を超え、青年期、壮年期も3割に近づいています。

不安・ふさぎ込みがあると答えた人の割合は32.6%で、目標値の35.0%に達しています。

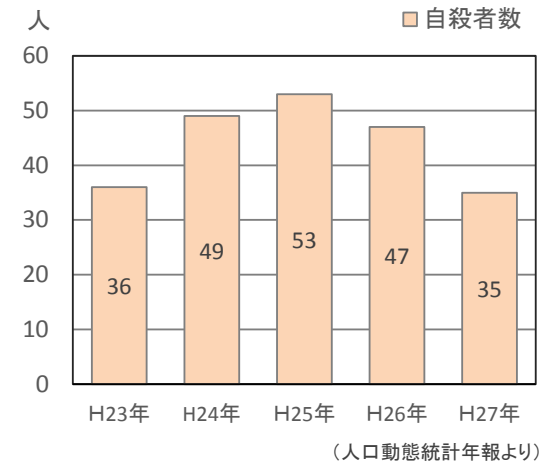
このため、睡眠やストレス解消に関する正しい知識の普及・啓発に取り組む必要があります。

自殺者数は、近年減少傾向にあります。年間30人を超える状況にあります。自殺を予防するため、身近で悩んでいる人に気付き、話を聞いて専門機関につなげることができる相談窓口等について周知する必要があります。

【睡眠による休養が十分とれていない人の割合】



【自殺者数】



4 たばこ・アルコール

現状と課題

(たばこ)

健やか親子21のアンケートでは、母親の育児中における喫煙率は低下していますが、妊娠中は上昇しています。

また、父親は、母親が妊娠し育児中であっても約4割の人が喫煙を継続しています。このため、子育てに関わる大人に対し、喫煙防止教育について取り組む必要があります。

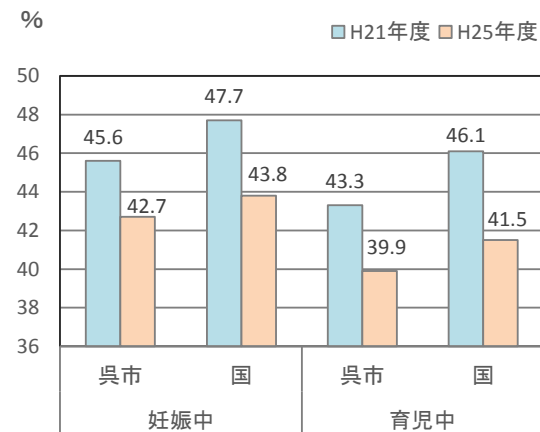
(アルコール)

生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人(男性:1日当たり日本酒2合以上,女性:1日当たり日本酒1合以上)の割合は、男性が13.3%,女性が7.7%で、それぞれ目標値(男性:11.8%,女性:6.8%)に達していません。

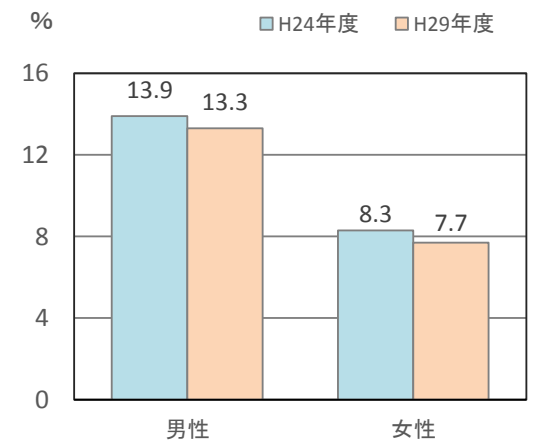
今後も、アルコールに関する正しい知識や適正な飲酒について普及・啓発を図るとともに、妊婦に対し飲酒をしないよう働き掛ける必要があります。

【妊娠・育児中における父親の喫煙率】

(「健やか親子21」調査より)



【生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合】



5 健康チェック

現状と課題

がん検診の受診率は、前回調査と比較すると上昇していますが、全国、広島県と比較して低い状況にあります。

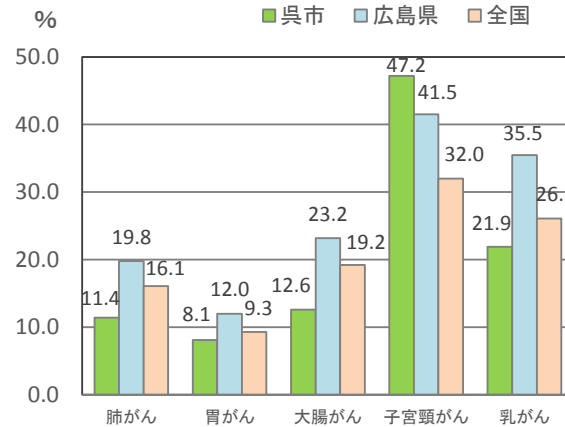
また、呉市国民健康保険加入者の特定健康診査受診率も上昇しましたが、目標値の40.0%に達していません。

この1年間で、がん検診・健康診査を受けていない理由は、「特に困ったことがない」と回答した人は、ともに4割を超えています。

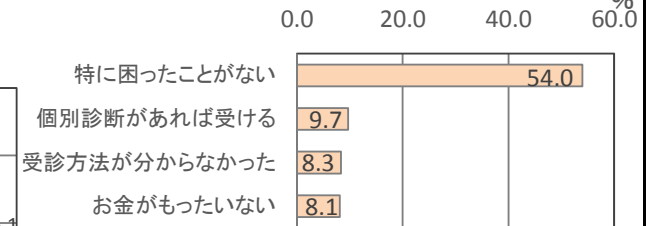
このため、定期的ながん検診等の受診の必要性について普及・啓発するとともに、受診の動機付けとなる施策を推進する必要があります。

※アンケートでは、人間ドック、特定健診、職場健診、学校検診等を含め健康診査とした。

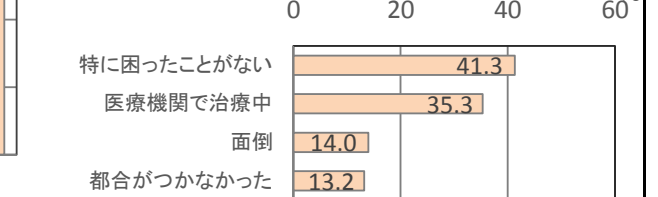
【がん検診の受診率】(H26年度)



【がん検診を受けていない理由】(H29年度)



【健康診査を受けていない理由】(H29年度)



6 生活習慣病等の重症化予防

現状と課題

(生活習慣病等の重症化予防)

主な死因は、がんに次いで心疾患、肺炎、脳血管疾患となっており、また、腎不全についても県や国と比較して高い水準となっています。この心疾患、脳血管疾患、腎不全となる主な要因は、糖尿病や高血圧症等の重症化にあります。特に、糖尿病の場合、合併症を併発し進行すると生活環境に多大な影響を及ぼします。

また、要支援・要介護認定者の疾患別医療費の上位は、骨折に続き心疾患、腎不全となっています。高齢者が骨折した場合、外出困難や寝たきりの状態につながりやすくなります。

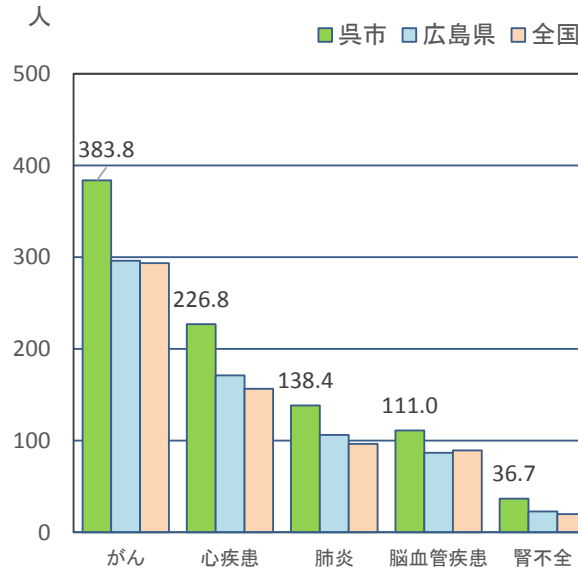
これらの疾患の重症化予防には、適切な早期治療に加え、食生活や運動などの習慣の改善が必要であり、疾患への正しい理解と生活改善の動機付けによる継続的な取組への支援が必要です。

(認知症対策)

65歳以上の高齢者は78,246人、要介護(要支援)認定者は13,450人です。そのうち認知機能の低下があるとされる高齢者数は6,509人、65歳以上の高齢者の約12人に一人となっており、今後も増加傾向が見込まれます。

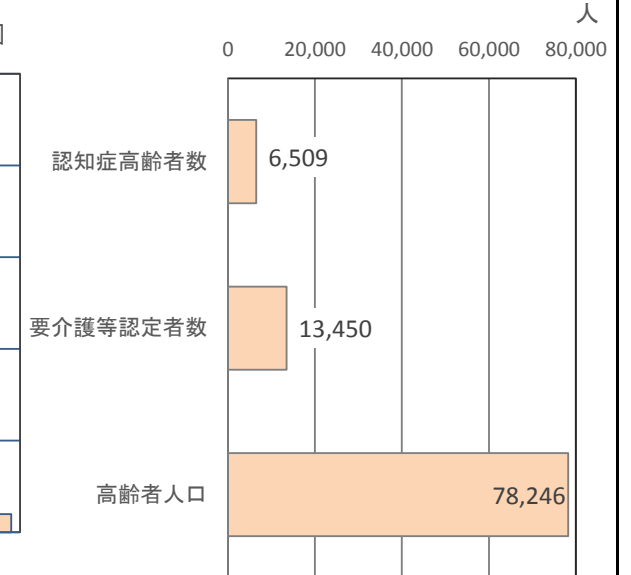
認知症は、疑われてから初めて病院で受診するまで時間がかかる現状があることから、早期受診、早期診断、早期治療となる体制づくりが必要です。

【主な死因別死亡率(人口10万対)】



(広島県ホームページ平成27年人口動態統計年報より)

【認知症高齢者数】(H28年度)



(呉市要介護等認定調査より)

7 介護予防と社会参加

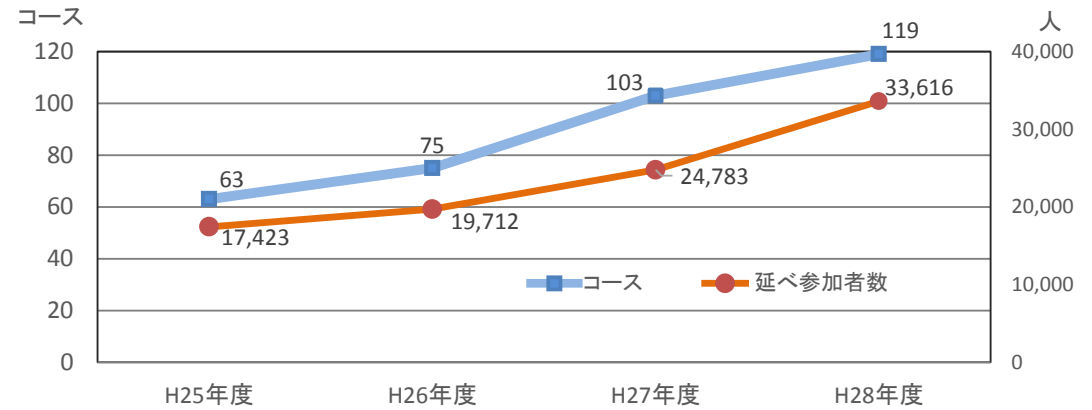
現状と課題

「介護予防には運動が必要である」といった認識は浸透しており、介護予防教室の増加に伴い、参加者は年々増加傾向にあります。

しかし、生活環境や身体要因によって介護予防教室等に参加できない高齢者も多く、また、介護予防教室は、期間が3か月から6か月で終了するため、教室終了後に運動を中止する人が多い傾向が見受けられます。そのため、より身近な地域で参加できる体制づくりを進めていく必要があります。

また、日常生活において、社会的な関わりが減り、外出する機会が減少することにより、身体面のみならず、精神面の生活機能も低下するため、自ら社会参加する機会を増やす必要があります。

【介護予防教室のコース数及び延べ参加者数】



(食育推進計画)

1 食の基本

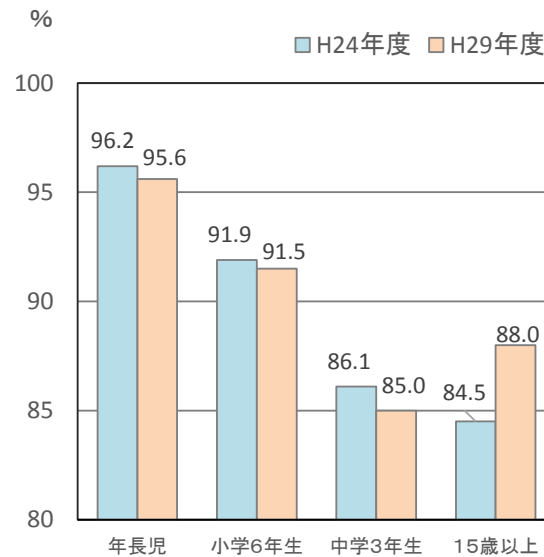
現状と課題

朝食をほとんど毎日食べている人の割合は、前回調査と比較すると、15歳以上では増加傾向にありますが、児童、生徒は減少傾向にあります。1日のスタートである朝食は、脳にエネルギーを補給し、生活のリズムが身に付き、活動の源となることから、子どもの頃からその必要性について理解してもらうよう取り組む必要があります。

食の安全性に関する知識を持っている人の割合は、47.5%で、目標値の90%以上に達していません。本市における平成28年度の食中毒発生件数は3件で、食品に関する苦情・相談件数は145件です。

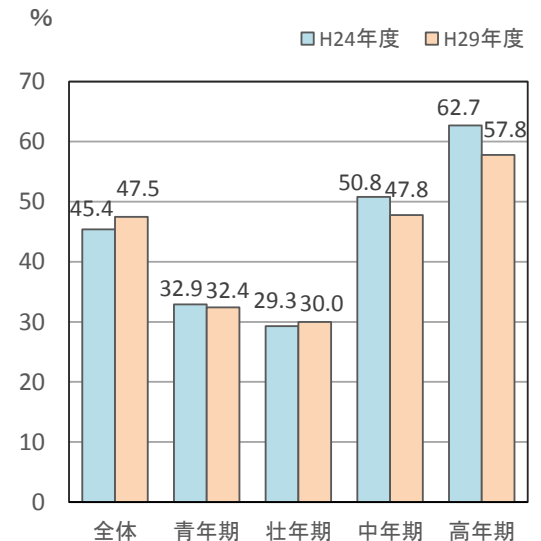
安全で安心できる食生活を送るためには、市民に対し食の安全に関しての正しい知識の普及・啓発に取り組むとともに、食品関連業者においては、製品の製造工程での安全性が確保される衛生管理体制の推進を図る必要があります。

【朝食をほとんど毎日食べている人】



【食品の安全性に関する知識】

(持っている及びどちらかといえば持っている)



2 食を通じての健康づくり

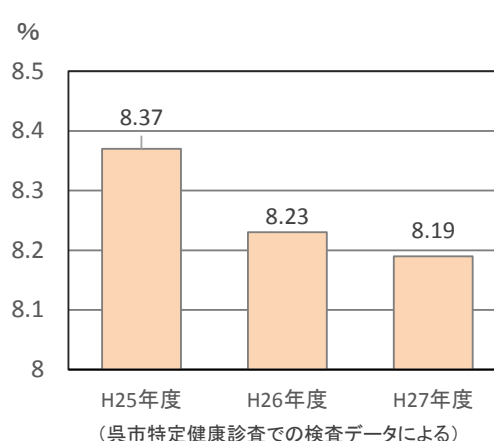
現状と課題

特定健康診査での尿検査における推定食塩摂取量は、年々減少傾向にあり、平成27年度は8.19gでした。塩分の過剰摂取は、胃がんのリスクや血圧を高めることから、減塩の必要性について引き続き普及・啓発に取り組む必要があります。

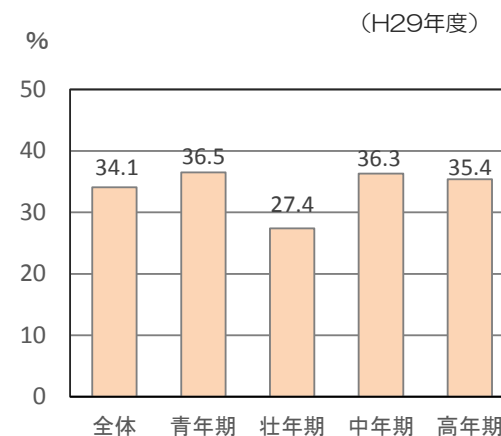
野菜を十分に食べている人の割合は34.1%で、前回調査と比較し、6.5ポイント増加していますが、特に壮年期の割合が低い状況にあります。また、平成28年の国民健康栄養調査による全国の野菜摂取量の平均は、男性が283.7g、女性は270.5gと、大人が1日に必要な野菜の摂取量としている350gに対して約70g不足しています。

野菜不足は、生活習慣病のリスクを高めることから、野菜摂取の必要性について情報提供するとともに、野菜摂取が継続しやすい取組方法等について普及・啓発に取り組む必要があります。

【推定食塩摂取量】



【野菜を十分に食べている人の割合】



3 食を通じての地域づくり

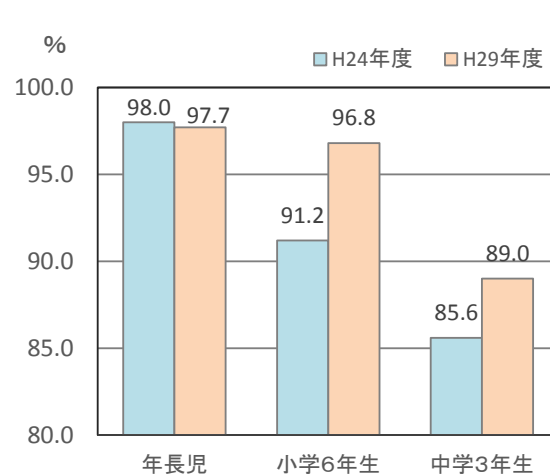
現状と課題

普段、家族と一緒に食事をしている子どもの割合は、前回調査と比較すると、改善が見られますが、年齢が上がるにつれて、家族との共食は減少しています。家族等が食卓を囲み楽しくコミュニケーションをとりながら食事をする（共食）は、食事に関するマナーや感謝の気持ちを身に付ける場であることから、継続して取り組む必要があります。

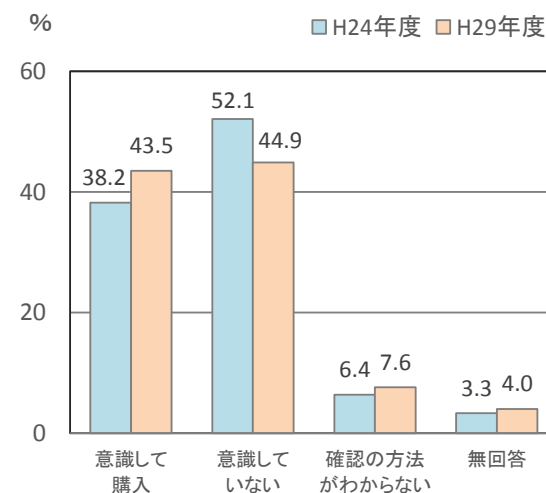
地元の食材を意識して購入している人の割合は43.5%で、目標値の44.0%に達していません。

今後も、安全、安心な農水産物をより多くの人に情報提供し、食文化について伝える機会を増やす必要があります。

【家族との共食】



【地元食材の購入】



5 第3次計画の概要

(1) 計画の基本理念・基本目標・基本姿勢・施策の推進方針

基本理念

市民が生涯にわたり
健やかで心豊かに生活できる健康都市“くれ”

基本目標

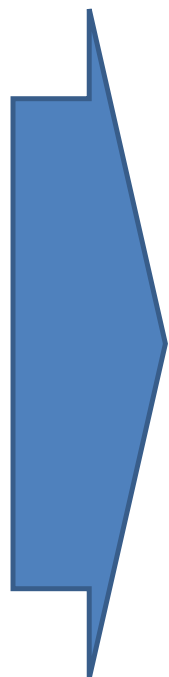
健康寿命日本一のまち
「くれ」の実現

基本姿勢

- 1 市民の主体的な健康づくりの支援
- 2 ライフステージと身体状況に応じた健康づくりの支援
- 3 データヘルスによる効果的な健康づくりの支援
- 4 地域協働による健康づくりの支援

施策の推進方針

- 方針1 運動習慣の定着
- 方針2 生涯を通じた食育の推進
- 方針3 こころの健康増進
- 方針4 生活習慣病等の発症・重症化予防
- 方針5 健康づくり活動への参加



健康増進計画 (重点8分野)

【目指すべき姿】

- 1 身体活動・運動
- 2 栄養・食生活
- 3 歯と口の健康
- 4 こころの健康
- 5 たばこ・アルコール
- 6 健康チェック
- 7 生活習慣病等の重症化予防
- 8 介護予防と社会参加

食育推進計画 (重点3分野)

【目指すべき姿】

- 1 食の基本
- 2 食を通じての健康づくり
- 3 食を通じての地域づくり

(2) 施策の体系と目標(健康増進計画)

目指すべき姿	主な施策	主な取組事業
<p>1 身体活動・運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分に合った運動習慣を持ち、継続的に実践することができる。 気軽に体を動かす場所や機会を知り、上手に活用し楽しむことができる。 	<p>【運動習慣の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> いつでもどこでもプラス10運動の普及啓発 ロコモティブシンドローム予防の推進 身体活動の必要性について知識の普及 ウォーキングの普及啓発 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(ロコモティブシンドロームについて)</p> <p>体を動かす運動器(骨・関節・筋肉など)の機能が衰えて、「立つ」「歩く」などの動作が困難になり、要介護や寝たきりになるリスクが高くなる状態のこと。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○各地区でのウォーキング会, 体力測定会, 運動教室, 生活習慣病予防教室, 健診等におけるプラステン運動の普及啓発 ○呉とびしまマラソン ○安芸灘とびしま海道オレンジライド
<p>2 栄養・食生活</p>	<p>食育推進計画に含める。</p>	<p>食育推進計画に含める。</p>
<p>3 歯と口の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯と口の健康を維持し、生涯自分の歯(口)で食べることができる。 	<p>【歯科疾患の予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防の啓発 ・歯周病予防の啓発 <p>【口腔機能の維持・向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育(口腔機能の育成・維持) 	<ul style="list-style-type: none"> ○むし歯予防の啓発 ○歯周病予防の啓発 ○口腔機能の育成・維持に関する健康教育(離乳食・かむ習慣)
<p>4 こころの健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠による休養が十分に取ることができる。 ・自分自身や周囲の人のこころの不調に気づき、周りの人や専門機関に相談できる。 	<p>【こころの健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくりの啓発 ・こころの相談 <p>【自殺対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策の普及啓発 ・ゲートキーパーの養成 ・自殺対策計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○こころの健康づくりの啓発 ○ゲートキーパーの養成

目指すべき姿	主な施策	主な取組事業
5 たばこ・アルコール <ul style="list-style-type: none"> 喫煙の影響を知り、たばこを吸わない。 節度ある飲酒を心掛け、妊婦はお酒を飲まない。 	【たばこ】 <ul style="list-style-type: none"> 幼児健診での啓発 公共施設の受動喫煙防止対策 【アルコール】 <ul style="list-style-type: none"> 適正飲酒についての啓発 妊婦への禁酒指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊婦への禁煙指導 ○公共施設の受動喫煙防止対策 ○妊婦への禁酒指導 ○適正飲酒についての啓発
6 健康チェック <ul style="list-style-type: none"> 年に1回は、がん検診・健康診査を受け、自分の健康状態を把握し、疾病の発症予防に生かすことができる。 	【がん検診・健康診査の受診・啓発】 <ul style="list-style-type: none"> がん検診，特定健康診査，骨粗しょう症検診，歯周病検診の実施 がんの個別検診の拡充，がん検診無料クーポン券の配布 健康づくり事業におけるがん検診・健康診査の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○骨粗しょう症検診 ○歯周病検診，シニアの口腔ケア向上検診 ○国民健康保険被保険者への人間ドック助成 ○がんの個別検診の拡充 ○健康診査等の予約受付及び受診勧奨 ○産婦健康診査
7 生活習慣病等の重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> 疾病について知り、支援を受けながら重症化予防ができる。 	【生活習慣病等の重症化予防】 <ul style="list-style-type: none"> 地域総合チーム医療の推進 骨粗しょう症重症化予防プロジェクト 【認知症対策】 <ul style="list-style-type: none"> 正しい理解を深めるための普及啓発 適時・適切な医療・介護への体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病性腎症等重症化予防事業 ○CKD重症化予防事業 ○脳卒中再発予防事業 ○心筋梗塞発症・再発予防事業 ○骨粗しょう症受診勧奨事業 ○認知症サポーター養成講座 ○認知症カフェの開催 ○認知症初期集中支援チームの運営 ○成年後見人制度利用支援 <div data-bbox="1637 922 2058 1102" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(CKDについて) 慢性腎臓病といい、腎機能の慢性的な低下や、尿たんぱくが継続して出る場合をいう。</p> </div>
8 介護予防と社会参加 <ul style="list-style-type: none"> 地域に生活する人たちが声を掛けあって交流し、自らの介護予防に取り組むことができる。 	【介護予防教室の推進と社会活動参加】 <ul style="list-style-type: none"> 筋力トレーニング事業の推進 各種サロン，フレイル事業の推進 地区組織活動への支援 各種サロン事業への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい・いきいきサロン運営事業 ○介護予防推進員の養成 ○介護予防自主グループ活動支援 ○リハビリテーション専門職による地域活動支援

(2) 施策の体系と目標(食育推進計画)

目指すべき姿	主な施策	主な取組事業
<p>1 食の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日3食, 子どもから高齢者に応じた食事をとることができる。 ・ 健全な食生活を送るために必要な「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し, 食品の安全・安心について理解を深める。 	<p>【食生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝ごはんを食べよう運動 ・ 食事バランスガイドの普及 <p>【食品の安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP衛生管理の普及促進 ・ 食品表示法の周知 ・ リスクコミュニケーションの充実 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>HACCP(ハサップについて) 安全で衛生的な食品を製造するための管理方法のひとつで, 問題のある製品の出荷を防止すること目的としたシステムです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○朝ごはん食べよう運動 ○呉市版食事バランスガイドの普及 ○HACCP衛生管理の普及促進 ○食品表示法の周知(相談及び講習会の開催) ○リスクコミュニケーションの充実
<p>2 食を通じた健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣病の発症・重症化の予防につながる食事ができる。 	<p>【生活習慣病等の予防・改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 減塩食による健康生活の推進 ・ 「野菜プラス一皿」による健康生活の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○世代に応じた適塩及び減塩教室の開催(妊娠期, 離乳期, 高校生・大学生, 子育て期) ○適塩生活応援店 ○「減塩」, 「野菜プラス一皿」の普及啓発(イベント, 教室, ホームページ等)
<p>3 食を通じた地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食を通して人とのつながりを広げ, 食の楽しさ, 感謝の気持ちを持つことができる。 	<p>【共食の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共食に関する啓発 <p>【地産地消の推進と食文化の継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産教室 ・ 農業体験 ・ 学校給食における地場産物の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○共食に関する啓発(「食育の日」「食育月間」での啓発) ○水産教室 ○農業体験・食農支援事業 ○学校給食での地場産物の導入

第3次健康くれ21(健康増進計画・食育推進計画)(案)に対する市民からの意見募集について

1 意見募集をする案件名

第3次健康くれ21(健康増進計画・食育推進計画)(案)

2 意見募集期間等

- (1) 公表期間 平成29年12月20日(水)から
- (2) 募集期間 平成29年12月20日(水)から
平成30年1月18日(木)まで(30日間)

3 計画案の周知方法

- (1) 呉市ホームページへの掲載
- (2) 呉市すこやかセンター3階 健康増進課窓口及び呉市役所1階シビックモール, 各市民センター(支所)窓口における配布

4 意見書の提出

意見書に必要な事項(意見内容並びに住所, 氏名及び電話番号)を記入の上, 郵送, ファクシミリ, 電子メール, 電子申請又は持参(健康増進課及び各市民センター(支所)の窓口)により提出

5 意見の公表場所

呉市すこやかセンター3階 健康増進課窓口及び呉市役所1階シビックモール, 各市民センター(支所)窓口における配布

6 今後のスケジュール

時期	内容
12月中旬	呉市ホームページ及び市政だより1月号で意見募集の通知
12月20日	意見募集の開始
1月18日	意見募集の締切
2月上旬	呉市保健福祉審議会保健所専門分科会への意見募集結果の報告 同分科会における計画案の審議
2月中旬	呉市保健福祉審議会からの答申
3月上旬	民生委員会への意見募集結果及び最終計画案の報告
3月下旬	計画の策定並びに意見募集結果及び計画の公表